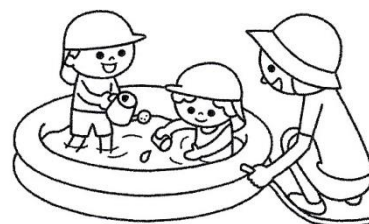


みずあそびがはじまりました！

お子様の体調や健康状態とあわせて
皮膚の状態にも気をつけましょう



夏は虫刺され・汗疹がしやすい季節です

汗を拭く、シャワーを浴びる、保湿する、着替えるなどし、皮膚を清潔に保ちましょう。
かゆみのある時は、患部を流水や泡立てた石鹸で洗い流したり、冷たいタオルで冷やすなどして、
なるべく掻かないようにしましょう。

症状が強い時には早めに皮膚科に受診をしましょう。

※爪は短く切り、手洗いはこまめに行いましょう。



とびひ

「とびひ」は虫刺されや小さな傷、湿疹などから細菌が入り込んで発症し、それを掻きむしる事で悪化します。「とびひ」は強いかゆみがあり、また感染力が強い為、集団生活やプール遊びなど配慮が必要です。何より、早めの受診が大切です。登園は可能ですが、とびひ部分は、ガーゼなどで覆い、露出しないようにしましょう。治療が完全に終わるまで、プール遊びはできません。



水いぼ

伝染性軟属腫ウイルスによって人から人に感染する子どもに多い皮膚の感染症です。治療は、水いぼの数が少ないうちに摘み取るのが最も確実で早く治す方法です。摘み取る際、痛みがあります。麻酔テープもあるようですが、数が多くなってから摘み取るのは苦痛です。登園・プール遊びは可能ですが、ビート板やプール用おもちゃなど共同利用で感染する恐れがあるといわれています。水いぼが出来た際のプール遊びは、患部を覆うか、治療してからのプール遊びをしましょう。

お薬・虫よけ・日焼け止めについて

- ※ ご家庭で風邪薬を服用して登園している、咳などが出ていて気管支拡張テープを体に貼って登園している場合などは、必ず保育士に伝えてください。やむを得ず、気管支拡張テープを貼って登園する際は、テープに名前を書いた上、貼ってきてください。
- ※ 虫よけ、日焼け止めは、登園前、ご家庭で塗布してきてください。保育園で塗り直すことはできません。